

**移植用部分肝採取術（生体）（腹腔鏡によるもの）の施設基準に係る  
届出書添付書類**

1 標榜診療科名（施設基準に係る標榜科名を記入すること。）			
科 科			
2 外科、消化器外科又は小児外科における常勤の医師の氏名等（3名以上）			
診療科	常勤医師の氏名	勤務時間	当該診療科の経験年数（少なくとも1名は5年以上）
		時間	年
		時間	年
		時間	年
		時間	年
3 病理部門の病理医氏名			
4 緊急手術が可能な体制（有 ・ 無）			
5 移植用部分肝採取術（生体）と生体部分肝移植術又は移植用肝採取術（死体）と同種死体肝移植術を術者として合計10例以上実施し、腹腔鏡下肝切除を術者として50例以上実施した経験を有する医師の氏名等			
医師の氏名	移植用部分肝採取術（生体）と生体部分肝移植術の実施症例数	移植用肝採取術（死体）と同種死体肝移植術の実施症例数	腹腔鏡下肝切除を術者として実施した実施症例数
	例	例	例
	例	例	例

**〔記載上の注意〕**

- 1 「2」の外科、消化器外科又は小児外科を担当する常勤医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記入すること。
- 2 「5」については、当該手術症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添2の様式52により添付すること。

腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）の  
施設基準に係る届出書添付書類

1 届出種別 ・新規届出（実績期間      年      月～      年      月） ・再度の届出（実績期間      年      月～      年      月）				
2 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）を術者として10例以上実施した経験を有する常勤医師の氏名等	常勤医師の氏名	勤務時間	診療科	当該手術の術者としての経験症例数
		時間		例
		時間		例
3 当該医療機関における結腸悪性腫瘍に係る手術（区分番号「K 7 1 9 の 3 」又は「K 7 1 9 - 3 」）の年間実施症例数 <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">例</div> そのうち、腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合を含む。）の年間実施症例数 <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">例</div>				
4 標榜診療科（施設基準に係る標榜科名を記入すること。） <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">科 科 科 科</div>				
5 外科又は消化器外科の常勤医師の氏名等（外科又は消化器外科について5年以上の経験を有する者が2名以上、そのうち10年以上の経験を有する者が1名以上）	常勤医師の氏名	勤務時間	診療科名	当該診療科の経験年数
		時間		年
		時間		年
6 緊急手術が可能な体制 <span style="float: right;">（ 有 ・ 無 ）</span>				
7 常勤の臨床工学技士の氏名				
8 保守管理の計画 <span style="float: right;">（ 有 ・ 無 ）</span>				

[ 記載上の注意 ]

- 1 「 1 」は特掲診療料施設基準通知第 2 の 4 の ( 3 ) に定めるところによるものであること。
- 2 「 2 」及び「 5 」の常勤医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記入すること。
- 3 「 2 」及び「 3 」については、当該症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添 2 の様式 52 により添付すること。
- 4 「 8 」について、当該手術に用いる機器の保守管理の計画書を添付すること。
- 5 当該届出は、病院である保険医療機関のみ可能であること。